

令和2年度事業計画の概要

基本方針

本会は、会員及び関係団体との連携に努めながら、国民健康保険制度、介護保険制度、障害者総合支援制度及び後期高齢者医療制度における審査支払業務をはじめとして、本計画に掲げる各種事業の適正・円滑な執行に取り組む。

国保連合会及び国民健康保険中央会が策定した「国保連合会・国保中央会のめざす方向2018」に基づき、今後直面する課題に取り組むとともに、令和2年度から開始する「（仮称）第2期中期経営計画」に基づく事業の着実な実施と計画の成果を評価することにより、保険者の負託に応える高いレベルのサービス提供に向け事業の充実強化を推し進める。

また、厚生労働省及び支払基金は平成29年度に「支払基金業務効率化・高度化

計画・工程表」を取りまとめ、審査支払業務の効率化・高度化に向けた取り組みが進められている。同計画では国保連合会についても整合的かつ連動して取り組みを進める旨が示されていることから、同年度に国保連合会及び国保中央会で策定した「国保審査業務充実・高度化基本計画」を着実に実施するとともに審査支払業務改革に取り組む。

さらに、令和元年5月15日に「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」が成立したことから、本会でもその趣旨に則り、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施及びオンライン資格確認等システムの確実な導入等について積極的に行う。

重点項目（☆は最重点項目）

1 国保制度の安定化に向けた取組の推進

- ・「宮城県国民健康保険運営方針」に沿った円滑な制度運用の推進
- ・国保制度改善強化全国大会への参加

2 医療費適正化対策の強化

- ・審査業務の充実強化
- ・国保診療報酬審査委員会の円滑な運営
- ・保険者支援事業の推進

3 保険者事務共同処理事業の充実及び国保総合システムの管理・運用

- ・国保総合システムを活用した業務の推進
- ・保険者業務支援システムを利用した保険者支援の推進
- ・国保保険者標準事務処理システムの推進

4 ☆ オンライン資格確認等システムの導入及び運用（新規事業）

- ・令和3年3月開始予定のオンライン資格確認等システムの確実な導入・運用

5 ☆ 保健事業推進のためのデータ活用支援及び保険者努力支援制度の支援強化

- ・データヘルス計画の推進（高齢者と保健事業の一体化に関する研修会の開催等）
- ・国保データベース（KDB）システム等のデータ活用支援（新規事業）
- ・特定健診等データ管理システムの適正な運用

6 介護保険関係業務の推進

- ・介護給付適正化対策事業における保険者支援の充実
- ・介護サービスの相談・苦情に対する適切で迅速な対応

7 障害者総合支援等関係業務の推進

- ・障害福祉サービス等に係る給付費の円滑な審査の実施